

米国San Luis Aviation社を子会社化し、 北米の公共安全市場を中心とするIP無線領域を強化

～米国連邦政府認証「FedRAMP」取得済のIP無線サービス「ESChat」を当社製品・サービス群に統合～

株式会社JVCケンウッドは、北米でIP無線^{※1}事業を展開する米国カリフォルニア州のSan Luis Aviation, Inc.（以下「SLA社」）の株式を100%取得し、2026年3月末（予定^{※2}）までに同社を完全子会社化（以下「子会社化」）することを決定しました。

本子会社化により、当社はSLA社が事業展開しているワイヤレスブロードバンド通信網（4G、5G、衛星通信、Wi-Fi）を使用した高セキュリティIP無線サービス「ESChat」を当社の製品・サービス群に統合することで、無線製品ポートフォリオを拡充します。当社は、重点市場としている北米の公共安全市場を中心としたIP無線領域を強化し、セーフティ&セキュリティ（S&S）分野における中長期的な成長を加速させていきます。

* 後述の「＜参考資料＞IP無線領域の強化による無線システム事業の成長加速について」をご参照ください。

※1：IP＝Internet Protocolの略。スマートフォンなどのようにワイヤレスブロードバンド通信網（4G、5G、衛星通信、Wi-Fi）を使用し、無線機と同様に1対複数の通話などが可能。特に海外では、PTToC（Push-To-Talk over Cellular）、ブロードバンドPTT（Push-To-Talk）とも呼ばれる。

※2：CFIUS（The Committee on Foreign Investment in the United States：対米外国投資委員会）申請の審査状況により、株式取得日は変更の可能性があります。



＜IP無線サービス「ESChat」とKENWOODブランドの無線機端末（右端）＞

1. 本子会社化の背景と目的

当社は、中期経営計画「VISION2025」において、S&S 分野の無線システム事業を成長牽引事業と位置づけ、無線システム事業では 2030 年に売上収益 1,200 億円を目指しています。同事業では、約 80 年にわたり培ってきた無線技術を生かし、現在、北米を中心とする警察・消防・救急などの公共安全市場や、学校、電気・水道・ガス事業者、交通機関などの民間市場に向けて、信頼性の高い業務用デジタル無線システムを展開しています。

業務用無線は、グローバルでの危機管理対応や BCP（事業継続計画）への対応、業務効率化のための通信手段として需要が高まっています。中でも、通信範囲が広いワイヤレスブロードバンド通信網（4G、5G、衛星通信、Wi-Fi）を使用し、さまざまなアプリケーションによりユーザーの利便性を高められる IP 無線は、市場拡大が見込まれています。

SLA 社は、米国連邦政府、州政府、地方自治体などを主要顧客とする公共安全市場向けに、Android・iOS のスマートフォンやタブレット端末、IoT デバイス、及び Windows PC に対応した IP 無線サービス「ESChat」を提供しています。同サービスは IP 無線市場において、グローバルで 70 万以上のユーザーを持ち、高いシェアを確保しています。

当社は、これまで SLA 社と複数のシステム案件を共同で手掛けていましたが、この度、同社を子会社化し、既存の無線機端末やシステムに加え、「ESChat」の技術を製品ポートフォリオに組み入れることにより、ワンストップソリューションとして提案力を強化します。当社は、本子会社化を今後の成長戦略における重要施策の一つとして、北米の公共安全市場での受注拡大を図るとともに、さまざまな環境における通信確保を通して「安心・安全な」まちづくりに貢献していきます。

2. IP 無線サービス「ESChat」の特長

IP 無線サービス「ESChat」は、人命や社会の安全に直結する重要な通信（法執行、救急医療、災害対応、相互支援、緊急通信など）を支えるために設計されたサービスです。このような通信サービスには、いつでも、どこでも、確実に、つながることが求められるため、非常に高い信頼性と情報セキュリティが必要とされます。「ESChat」は、2025 年 8 月 1 日に、米国麻薬取締局（DEA）の支援を受けて、IP 無線サービスとして唯一、米国連邦政府が定めるクラウドサービス認証制度「FedRAMP（Federal Risk and Authorization Management Program）」において、「中程度の影響レベル（Moderate Impact Level）」※³ の認証を取得しました。米国連邦機関が利用するクラウドサービスは「FedRAMP」認証の取得が必要となっています。

また、IP 無線の音声通信に加え、グループメッセージや位置情報の追跡・地図表示機能などを備えます。「ESChat」は、世界中※⁴ の主要モバイルキャリアで利用可能です。ソフトウェア開発キット（SDK）をパートナー企業や戦略的提携先にライセンス提供しており、幅広いサードパーティー製品との統合が可能です。現場の多様なニーズに応えるシンプルかつ信頼性の高い IP 無線環境を提供します。

※3：米国政府が定めるクラウドサービスのセキュリティ基準「FedRAMP」における影響度分類の一つ。連邦政府の情報システムにおいて「機密性」「完全性」「可用性」が損なわれた際に、組織活動、資産、個人に重大な影響を及ぼす可能性があると判断されるレベル。同認証の取得には米国国立標準技術研究所（NIST）の情報セキュリティに関するガイドライン「NIST SP 800-53」に準拠した厳格なセキュリティ管理策の実装が求められます。

※4：米国の暗号輸出規制で明示的に禁止されている地域を除く。

3. 両社のコメント

<株式会社 JVC ケンウッド 代表取締役 社長執行役員 最高経営責任者（CEO）江口 祥一郎のコメント>

SLA 社を JVC ケンウッドグループの新たなメンバーとして迎えることができ、大変嬉しく思っています。本子会社化は、当社の成長を牽引する無線システム事業をさらに飛躍させる重要な施策の一つです。北米の公共安全市場を中心とした IP 無線領域を強化し、お客さまの多様なニーズに応えることで、「安心・安全な」まちづくりに貢献していきます。当社は、本子会社化を通して、企業理念に掲げる「感動と安心を世界の人々へ」の実現に向けて成長を加速し、企業価値の最大化を目指していきます。

<San Luis Aviation, Inc. President and CEO Josh Lober のコメント>

SLA 社と JVC ケンウッドは、長年にわたり強固なビジネス関係を築いてきました。両社は協力して効果的な通信ソリューションを開発し、それぞれが高いシナジーを持つ製品・サービスを展開しています。そのため、SLA 社が JVC ケンウッドグループに加わる決断は、自然な流れでした。JVC ケンウッドとともに、ミッションクリティカルなブロードバンド及びハイブリッド LMR PTT ソリューションの水準をさらに高め、米国内外で顧客基盤を拡大していきます。SLA 社の経営陣は、円滑な移行を確実にすることに尽力し、今後も会社に貢献していくことを楽しみにしています。

4. 異動する子会社の概要

(1) 名称	San Luis Aviation, Inc.
(2) 所在地	81 Higuera Street, Suite 280, San Luis Obispo, California 93401
(3) 代表者の役職・氏名	Josh Lober
(4) 事業内容	IP 無線（PTToC）アプリ開発及びサービス提供
(5) 資本金 (2024 年 12 月期末時点)	11,377 米ドル（1,799,613 円） ※1 米ドル = 158.18 円（2024 年 12 月末の為替レート）で換算しています。
(6) 設立年月日	2002 年 3 月 14 日
(7) 大株主及び持株比率	Josh Lober（SLA 社代表者）及び同社役職員 5 名で全株式保有

(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。	
	人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。	
	取引関係	当該会社から当社の関係会社へのサービス提供等の取引があります。	
(9) 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態			
※1 米ドル＝158.18 円（2024 年 12 月末の為替レート）で換算しています。			
決算期	2022 年 12 月期	2023 年 12 月期	2024 年 12 月期
純資産	553 百万円	438 百万円	451 百万円
総資産	575 百万円	417 百万円	430 百万円
1 株当たり純資産	1,774 千円	1,405 千円	1,448 千円
売上高	1,453 百万円	1,077 百万円	1,126 百万円
営業利益	591 百万円	133 百万円	172 百万円

5. 株式取得の相手先の概要

(1) 氏名	Josh Lober (SLA 社代表者)、その他個人株主 5 名
(2) 住所	個人のため非開示とします。
(3) 上場会社と当該個人との関係	記載すべき資本関係、人的関係、取引関係及び関連当事者への該当事項はありません。

6. 取得株式数及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0 株 (議決権の数 : 0 個) (所有割合 : 0%)
(2) 取得株式数	普通株式 312 株 (議決権の数 : 312 個) (所有割合 : 100.00%)
(3) 異動後の所有株式数	普通株式 312 株 (議決権の数 : 312 個) (所有割合 : 100.00%)

7. 日程

～2026 年 3 月末 (予定) 株式取得 (子会社化)

* CFIUS (The Committee on Foreign Investment in the United States : 対米外国投資委員会) 申請の審査状況により、株式取得日は変更の可能性があります。

8. 今後の見通し

上記 7. 日程 のとおり、2026 年 3 月末までに、Josh Lober (SLA 社代表者)、その他個人株主 5 名から SLA 社の全株式を取得する予定です。なお、本件にともなう今期の連結業績への影響は軽微です。

<商標について>

- ・「ESChat」は、San Luis Aviation, Inc.の商標または米国における登録商標です。
- ・「FedRAMP」は、United States General Services Administration の商標または米国における登録商標です。
- ・「Wi-Fi」は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- ・「Android」は、Google LLC の商標または登録商標です。
- ・「iOS」は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・「Windows」は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標および登録商標です。

本資料の内容は発表時のものです。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

IP無線領域の強化による 無線システム事業の成長加速について

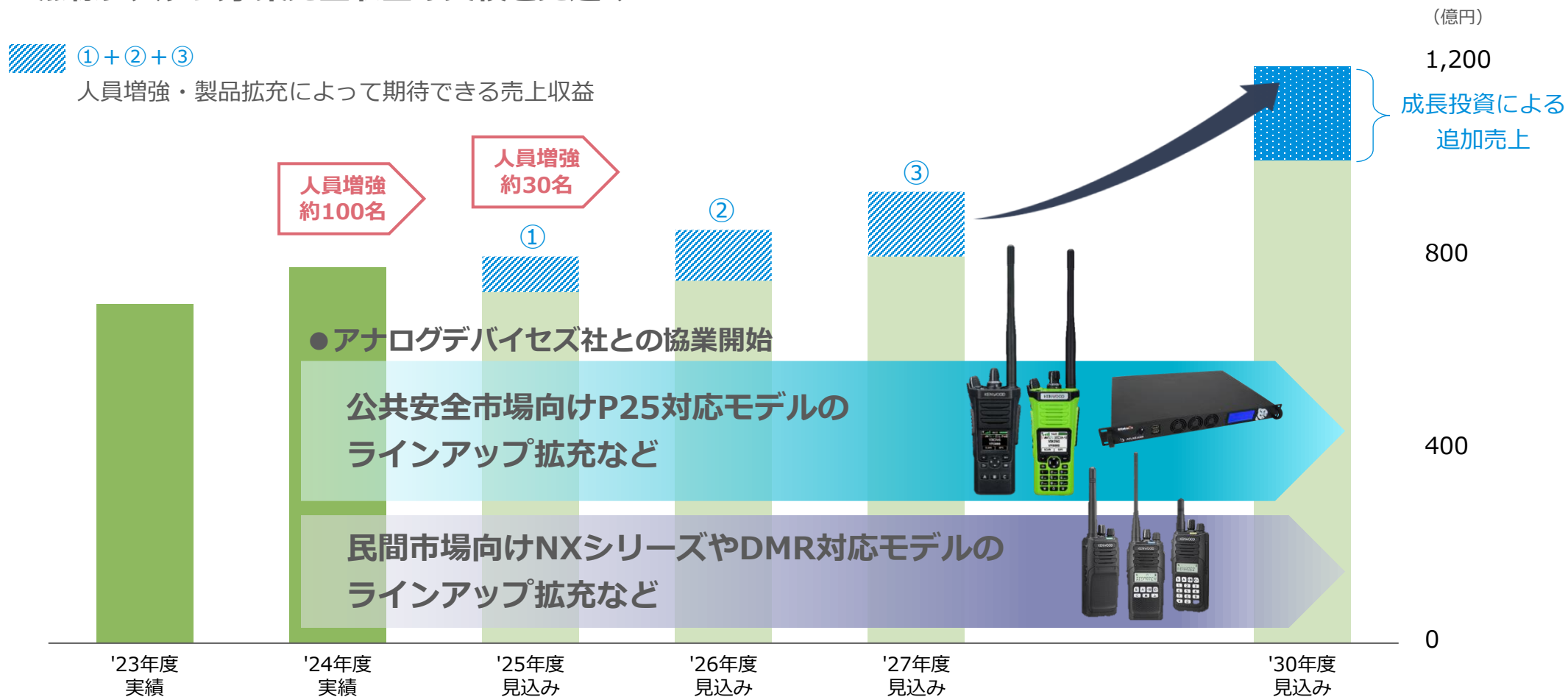
株式会社JVCケンウッド

2025年10月8日

無線システム事業の現況

人員増強や製品ラインアップの拡充により、成長を加速化

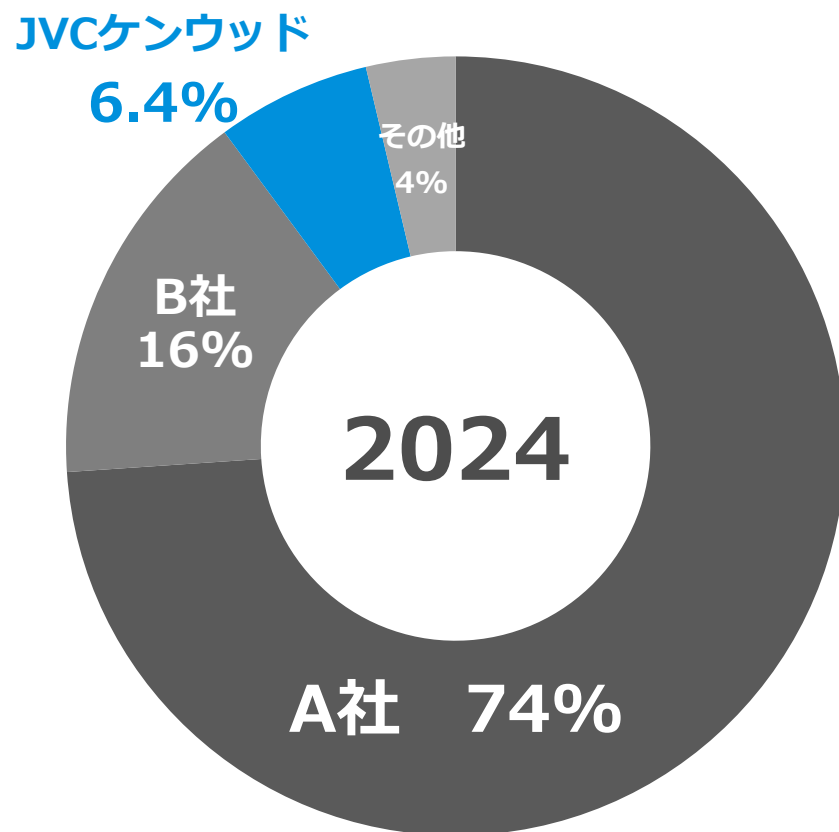
■無線システム事業売上収益の実績と見込み



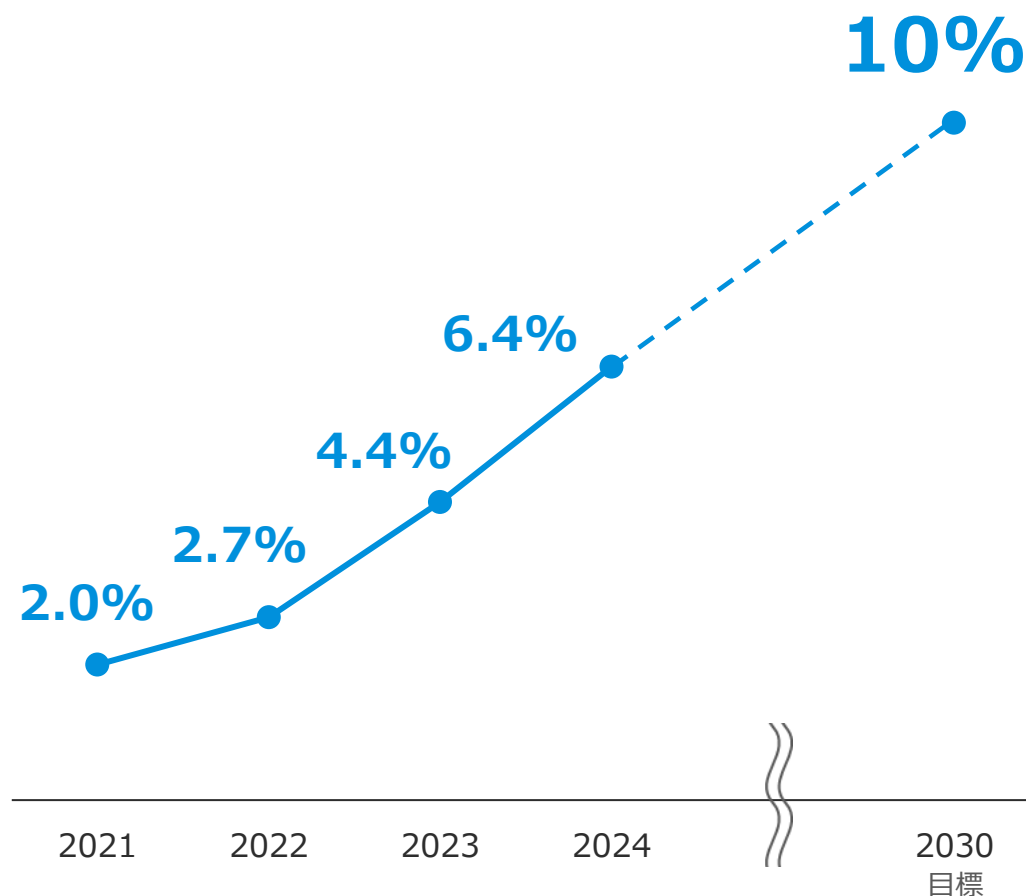
注力する北米公共安全市場における当社シェア

2030年には市場シェア10%を目標に成長を加速

■ 2024年北米公共安全（P25）市場シェア



■ 市場シェアの推移と2030年度目標



依拠：OMDIA reports 「Licensed Mobile Radio Report 2024」 「LMR Infrastructure and Systems Integration Report 2024」 をもとに当社推計、右側グラフも同様に各年のデータから当社推計

San Luis Aviation社の子会社化によるIP無線領域の強化

San Luis Aviation, Inc. を 2026年3月末迄に完全子会社化予定

本社所在地：米国カリフォルニア州

主な事業内容：IP無線サービス「ESChat」の提供

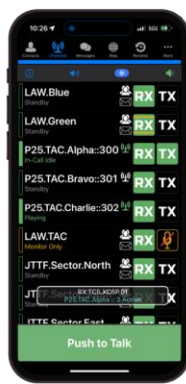
設立：2002年3月



Android for PTT



Android Standard



iPhone



Android D-Pad



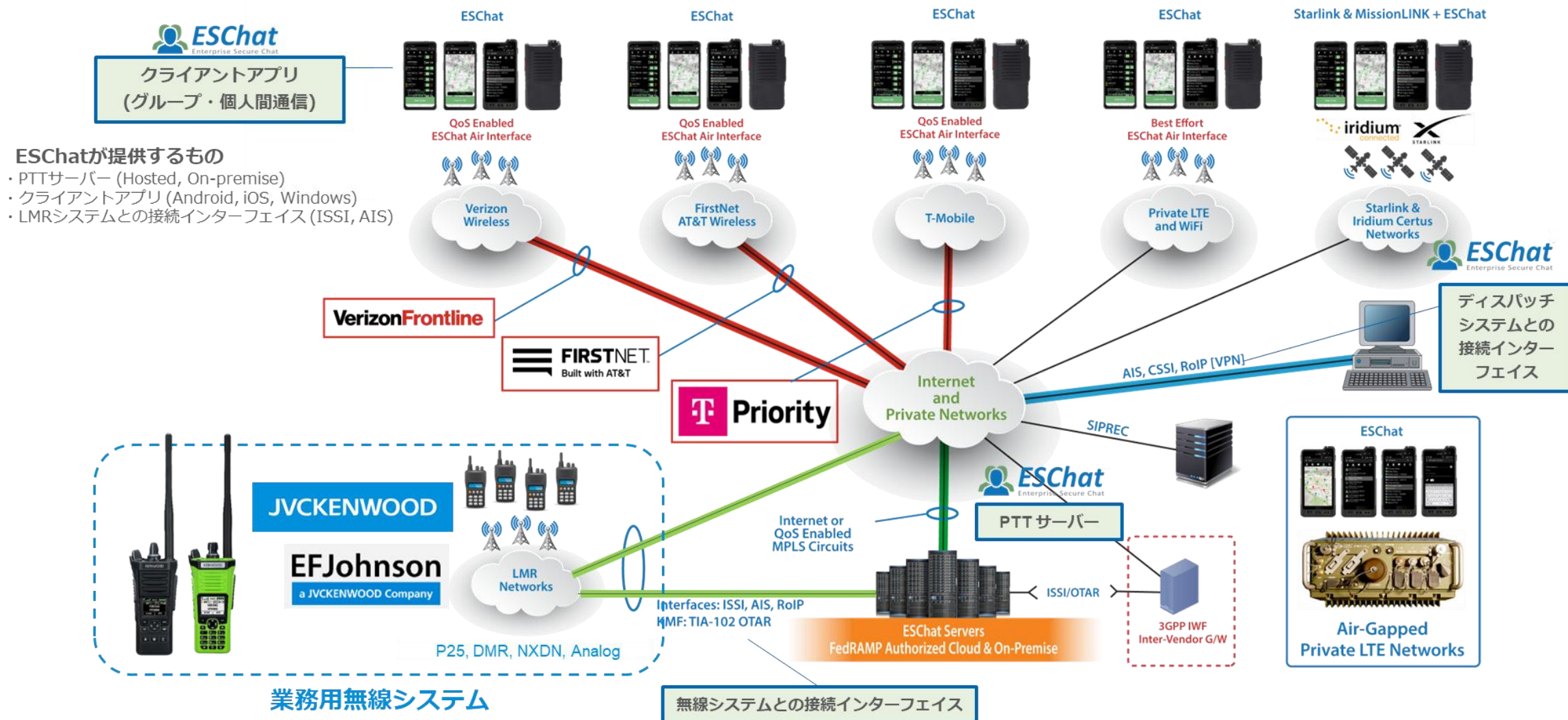
業務用無線



- ✓ 主に米国連邦機関、州、地方自治体など公共安全市場向けに、IP無線サービス「ESChat」を提供
- ✓ IP無線サービスとして唯一、米国連邦政府が定めるクラウドサービス認証「FedRAMP®」を取得
- ✓ グローバル市場で70 万以上のユーザーを有し、IP無線領域で高いシェア を確保
- ✓ 全世界の主要な携帯電話キャリアとパートナーシップを結び、キャリアを問わずにサービス利用が可能
- ✓ 業務用無線との相互通話が可能で、当社無線製品との親和性が高い

当社無線システムとESChatサービスの連携イメージ

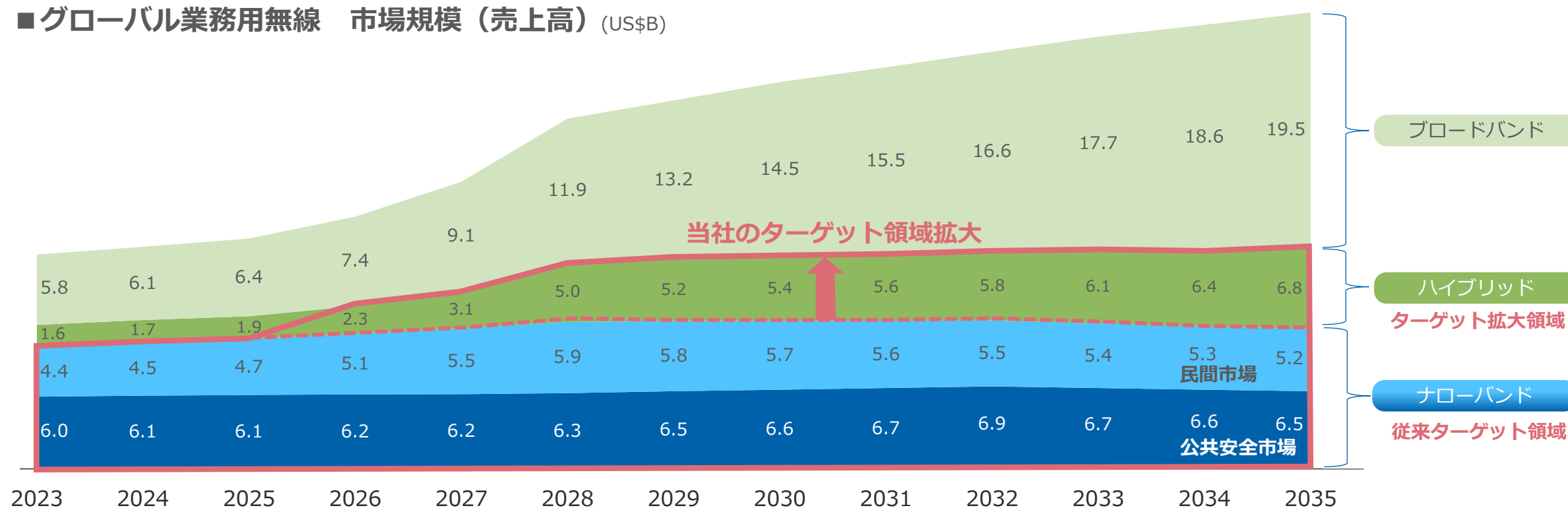
当社無線システムとESChatサービスの相互接続により、ワイヤレスブロードバンド回線のカバー範囲まで通信エリアを拡張可能。また、一部データ通信(テキストメッセージ、位置情報等)も可能



無線システム事業の市場環境

主戦場はナローバンドからナローバンド+ブロードバンドのハイブリッド領域へと拡大

■グローバル業務用無線 市場規模（売上高）（US\$B）



- ブロードバンド LTE/5G商品・サービス（LTE/5G端末、LTE/5G基地局、EPC（中枢装置）、アプリケーション、課金システム、回線システム）
- ハイブリッド 業務用無線とブロードバンドのハイブリッド領域：デバイス（LTE/5G車載用ルーター、IP無線端末）、インフラ（LMR統合システム）、IP無線サービス
- ナローバンド 公共安全市場：P25、TETRA、TETRAPOLE、PDT 民間市場：DMR、NXDN、dPMR、Analog、Others

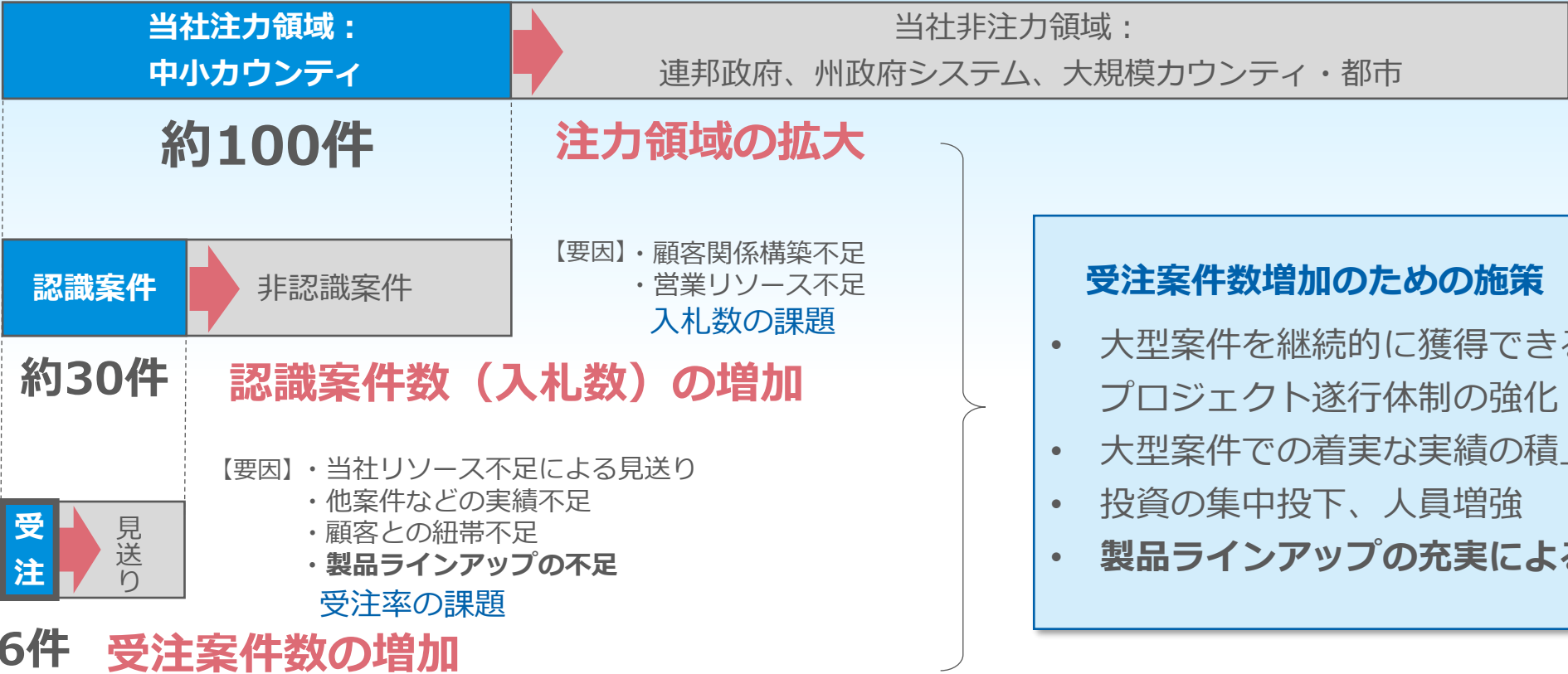
依拠：OMDIA reports 「Licensed Mobile Radio Report 2024」 「LMR Infrastructure and Systems Integration Report 2024」 「Critical Communications Broadband Report 2024」 をもとに当社推計

北米公共安全市場における受注強化

提案力を強化し、IP無線を含む大型案件獲得数の増加を狙う

イメージ

北米公共安全市場における入札案件件数※：約300件/年



- 受注案件数増加のための施策**
- ・ 大型案件を継続的に獲得できる販売体制およびプロジェクト遂行体制の強化
 - ・ 大型案件での着実な実績の積上げ
 - ・ 投資の集中投下、人員増強
 - ・ 製品ラインアップの充実による提案力の強化

注力領域拡大×入札数増加×受注率上昇によって、受注案件を倍増化

ESChat を梃子に北米公共安全市場を拡大



新たなチャネルの拡大

連邦政府ビジネス

ESChat の連邦政府との顧客接点やブランド力を梃子に、連邦政府市場にリーチ。当社無線製品・システム販売の機会創出

[顧客例]

United States Drug Enforcement Administration(DEA : 米国麻薬取締局)

従来のチャネルでの販売拡大

システム案件ビジネス

近年拡大しているIP無線が含まれる無線システム入札案件への応札件数の増加。ワンストップソリューションを梃子にした受注率の向上

無線端末ビジネス

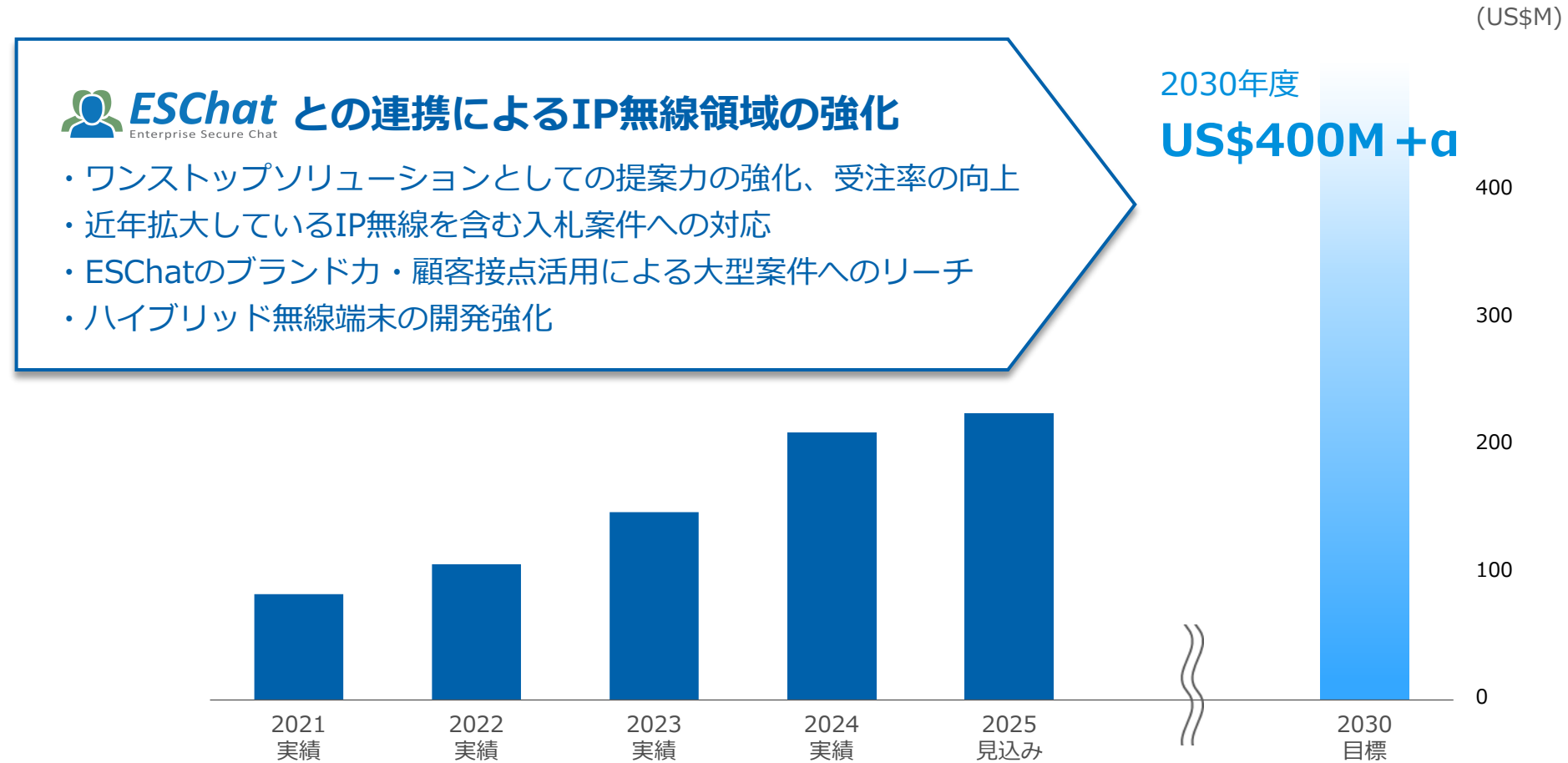
IP無線事業の自社取り込みによるハイブリッド無線端末の開発強化と本格参入



無線システム事業の中期成長目標

競争力を高めるためのアセットを獲得し、成長機会の最大化を目指す

■ 北米公共安全市場における当社売上収益の実績と見込み





このプレゼンテーション資料に記載されている記述のうち、将来を推定する表現については、将来見通しに関する記述に該当します。

これら将来見通しに関する記述は、既知または未知のリスクおよび不確実性並びにその他の要因が内在しており、実際の業績とは大幅に異なる結果をもたらすおそれがあります。これらの記述は本プレゼンテーション資料発行時点のものであり、経済情勢や市場環境によって当社の業績に影響がある場合、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。実際の業績に対し影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、（1）主要市場（日本、米州、欧州およびアジアなど）の経済状況および製品需給の急激な変動、

（2）国内外の主要市場における貿易規制等各種規制、（3）ドル、ユーロ等の対円為替相場の大幅な変動、（4）資本市場における相場の大幅な変動、（5）急激な技術変化等による社会インフラの変動、などがあります。ただし、業績に影響を与えうる要素としてはこれらに限るものではありません。